

平成 29 年度第 2 回水戸市立博物館協議会

日時 平成 30 年 2 月 27 日 (火)
午前 10 時 30 分から
場所 水戸市総合教育研究所
2 階研究室 7

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

(1) 報告事項

- ・共催展「茨城鉄道 I」—今も思い出の中を走ってる—の結果報告について
- ・平成 29 年度教育普及事業の結果について
- ・平成 30 年度博物館予算 (案) について

(2) 協議事項

- ・平成 30 年度博物館運営方針及び努力目標 (案) について

(3) その他

4 閉 会

【報告事項】

共催展「茨城鉄道Ⅰ」—今も思い出の中を走ってる—の結果報告

1 共催展概要

昭和46年まで水戸市の赤塚と城里町の御前山の間を走っていた茨城鉄道を取り上げ、城里町役場及びホロルの湯に列車や駅の写真、記録映像等を展示するとともに、関連行事としてコンサート等を開催し、たくさんの思い出を残して廃線となった茨城鉄道の歴史を多くの入場者に紹介した。

2 開催期間及び会場、入場者数

平成29年7月4日（火）～8月31日（木） 51日間

入場者数合計 74,612人

（内訳）

① 城里町役場 町民ホール（1Fロビー）

平日／8：30～17：15 土曜／8：30～12：00 土曜午後・日曜祝日閉庁

入場者数 3,730人

② ホロルの湯 1Fロビー

火曜～日曜／10：00～21：00 月曜、8月17日は休館、8月14日は開館

入場者数 70,882人

3 関連行事の結果

(1) 親子一緒に「昭和ワールドに行こう！！」昭和のお楽しみ編

実施日 平成29年8月12日（土） 9：30～12：30

会場 コミュニティーセンター城里 1Fロビー

内容 バルーンアート、射的、スーパーボールすくい 他

参加人数 78人

(2) マンドリンコンサート編

実施日 平成29年8月12日（土） 14：00～15：30

会場 コミュニティーセンター城里 コンサートホール

演奏 ラ・ジュネス マンドリンクラブ

テーマ 「茨城鉄道が走っていたころ流行していた歌」

参加人数 77人

4 クイズシート「きみもタイムトラベラーに！」結果

実施期間 平成29年8月1日（火）～8月31日（木）

内容 ホロルの湯1Fロビーにクイズシート置き場を設置し、フロントの方に回答のチェック及びプレゼント交換を依頼した。

参加人数 88人

5 アンケート結果

(1) 展覧会を見ての感想を伺います。

- ・貴重な写真が見られて良かった。
- ・とても懐かしく、その頃にもどったようです。(複数回答)
- ・鉄道が走っていたのをはじめて知り、驚いた。
- ・うれしかった。
- ・茨城鉄道の歴史がわかってよかった。
- ・昔の町並みの写真を懐かしく見た。
- ・こんなに資料が残っていたことに、とても驚いた。(複数回答)
- ・見に来てよかった。(複数回答)
- ・一度も見たことも、乗ったこともないのが残念。

(2) 展示物の中で何が印象に残りましたか。

- ・駅の写真。
- ・古い電車の形。
- ・当時の駅の写真が揃っていたこと。(複数回答)
- ・映像。古い画像がよく残っていたことに感動した。(複数回答)
- ・御前山駅～石塚駅、小学校の頃、遠足に行ったのを思い出した。
- ・田野のカーブや堀の坂。
- ・当時の駅があった地図。
- ・当時の駅舎の場所と現在の場所との比較。(複数回答)

(3) 茨城鉄道を知っていましたか。乗ったことはありますか。

- ・知ってはいたが、乗ったことはない。
- ・知らない。
- ・知っている
- ・乗ったことがある。
- ・乗ったことがある人を知っている。

(4) 来年「茨城鉄道Ⅱ」が水戸市立博物館で開催予定ですが、どんなことを期待しますか。

- ・水戸市立博物館より車で行きやすいところで開催してほしい。(60代男性)
- ・写真集を発行してほしい。(複数回答)
- ・飯富駅、田野駅、堀駅の詳細が知りたい。
- ・駅の今昔の詳細な説明がほしい。
- ・もっと大量の写真を展示してほしい。(複数回答)
- ・図録にDVDをつけてほしい。(複数回答)
- ・当時の鉄道関連資料の展示をしてほしい。
- ・模型制作を希望する。

【報告事項】

平成 29 年度教育普及事業の結果

1 学校連携事業（平成 30 年 3 月予定分を含む）

① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
道具の実体験講座と博物館見学 ※博物館休館中のため実施せず	-		-	小学 3 年生
道具の実体験講座の出前授業 ※博物館休館中のため実施	36	小学校 33 義務教育学校 1 盲学校 1 聾学校 1	2,061	小学 3 年生
社会科（戦争）出前授業	-		-	
博物館見学 ※博物館休館中のため実施せず	-		-	
職場体験 ※博物館休館中のため実施せず	-		-	
総合学習 ※博物館休館中のため実施せず	-		-	
町探検 ※博物館休館中のため実施せず	-		-	
学芸員見学実習 ※博物館休館中のため実施せず	-		-	
講演	-		-	
計	36		2,061	

② 学校への資料の貸出

資料の種類	校数	内 訳	資 料 内 容
戦争関係資料	4	高校 4	写真パネル, 軍服, 焼夷弾, 艦砲弾破片, 手榴弾, 千人針等
計	4		

③ 私たちの郷土 研究発表会優秀作品展

※博物館休館中のため実施せず

	校数	作品数
小学校	-	-
中学校	-	-
計	-	-

2 夏休み子どもミュージアム

※博物館休館中のため実施せず

3 「び〜すプロジェクト」

※博物館休館中のため参加せず

※ただし、戦争時代の体験を聴く「わたしは戦争を忘れない」は実施

* わたしは戦争を忘れない—子どもたちと戦争—

会場：県立歴史館講堂

期 日	話 者	参加人数
8月2日	塩谷みとり氏, 玉川里子氏	173
8月15日	鈴木暎一氏, 玉川里子氏	96

4 地域連携事業

① 三店ものがたり

※博物館休館中のため参加せず

5 その他

① みと歴史講座 弘道館訓導 石河明善の日記から「幕末の水戸を語る」

テ ー マ	期 日	講 師	参加人数	備 考
※博物館休館中のため実施せず			-	

② 自然観察会

テ ー マ	場 所	期 日	講 師	参加人数
逆川昆虫観察会	逆川緑地	7月22日	佐々木泰弘氏 染谷 保氏	26
逆川植物観察会	逆川緑地	10月15日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	11
春を待つ冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月13日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	13
千波湖野鳥観察会	千波湖畔	2月4日	後藤俊則氏	5

③ かえっこ

名 称	会 場	期 日	参加人数	備 考
※博物館休館中のため実施せず			-	

④ その他の講座

講座名	期日	講師	対象
源氏物語女人絵巻 「花宴」—春の夜の禁断の恋—	1月23日	坂本京子	三の丸女性会28人
源氏物語女人絵巻 「桐壺」—永遠の思い人—	2月15日	坂本京子	五軒さわやか学級

⑤ 学校以外への資料の貸出（平成30年1月末日現在）

資料の種類	件数	内 訳	資料内容
自然資料	1	東海村立図書館	昆虫標本等24点
歴史資料	3	子育て応援・ペンギンくらぶ 茨城県立歴史館 石川市民センター	焼夷弾1点 近世義勇伝等17点 茨城鉄道画像41点
美術資料	3	茨城県陶芸美術館 千葉市美術館 小杉放菴記念日光美術館	中村勝馬作品等4点 林十江作品1点 五百城文哉作品100点（寄託資料）

⑥ 写真・画像使用の許諾（平成30年1月末日現在）

資料の種類	件数	内 訳	資料内容
歴史資料	31	書籍掲載 14	「快風丸」模型写真1点 耕雲斎筑波山籠1点 水戸城三階櫓等『市政80年写真集 水戸』画像2点 昭和30年代の水戸駅『水戸百年』 画像等2点 水戸鈴木家文書1点 満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスタ ー1点 耕雲斎筑波山籠等3点 水戸市立三の丸小学校の給食時間 等『水戸百年』画像2点 水戸市鳥瞰図1点 水戸城三階櫓絵葉書1点 2件 常磐尋常高等小学校画像等10点 遠藤酒店『水戸百年』画像1点 市民に親しまれた民衆駅等『水戸 百年』画像4点

		映像 5	懐中日記等 6 点 救民妙薬 1 点 2 件 水戸城三階櫓絵葉書 1 点 耕雲斎筑波山籠 1 点
		資料掲載 4	南町二丁目の商店等『水戸百年』 画像 9 点 水戸城三階櫓絵葉書等 18 点 水戸城下絵図等 17 点 徳川光圀肖像 1 点
		プロジェクター 3	弘道館図 1 点 水戸駅写真 1 点 オリンピック聖火水戸市内通過等 『水戸百年』画像 11 点
		デジタル掲載 2	水戸城二の丸大手門 1 点 水戸市及び三浜全図 1 点
		図版掲載 1	石河明善日記 1 点
		広報印刷物掲載 1	空襲後の水戸郵便局前『水戸百年』 画像 1 点
		調査 1	旧水戸市歌楽譜 2 点
民俗資料	2	書籍掲載 2	飛田穂洲画像 1 点 水戸市立常磐小学校の給食（レプ リカ） 1 点
美術資料	5	書籍掲載 2	須田珙中作品 1 点 五百城文哉作品 1 点
		図版掲載 1	辻永作品 20 点
		広報印刷物掲載 1	五百城文哉作品 13 点
		調査 1	林十江作品 1 点

【報告事項】

平成 30 年度博物館予算（案）

（単位：千円）

区分（主な内訳）	30 年度 当初予算額	29 年度 当初予算額	差引 増減額
○博物館運営管理に要する職員給与費 職員給与費（4人→5人）	35,927	32,014	3,913
○博物館行事関係経費	12,700	10,800	1,900
常設展（教育普及事業含む）	1,300		
特別展「みと歴史探訪」	3,600		
特別展「水戸城遥かなり」	5,400		
企画展「妖怪様のお通りだい！！Ⅱ」	2,400		
○博物館運営関係経費	18,192	57,402	△39,210
「石河明善日記」刊行事業	1,300	300	1,000
耐震工事に伴う収蔵品等搬出・保管業務委託	-	49,986	△49,986
施設管理に係る光熱水費，修繕料，委託料	9,243	136	9,107
くん蒸作業委託	2,144	2,000	144
嘱託員関係（1人）	2,091	2,039	52
博物館協議会及び資料収集専門委員報酬	290	210	80
○大塚農民館関係経費	287	287	-
維持管理費（委託料等）			
○芸術振興基金費（運営関係経費から新設） 芸術振興基金積立金（利子収入の充当）	26	-	26
合 計	67,132	100,503	△33,371

<平成 30 年度の主な行事開催予定>

特別展「みと歴史探訪」（会期：平成 30 年 10 月 20 日～11 月 25 日）
明治から大正時代の水戸の様々な事象を取り上げ，当館の全部門が所蔵する資料から関係資料を展示することによって，水戸の明治・大正期の様子をたどる。
特別展「水戸城遥かなり」（会期：平成 31 年 2 月 10 日～3 月 17 日）
日本遺産に弘道館が位置付けられるとともに，大手門等を再建する計画が進められている中，水戸城の歴史や近世の城下町を紹介し，市民の郷土意識を高める一助とする。
企画展 「妖怪様のお通りだい！！Ⅱ」（会期：平成 30 年 7 月 21 日～8 月 26 日）
器物の妖怪である「付喪神」の姿を借りて，様々な昔の道具を子どもたちに紹介するとともに，ものを大切にするという心を伝える。

【協議事項】

平成 30 年度博物館運営方針及び努力目標（案）

運営方針

博物館は、市民に親しまれ、郷土の自然・歴史・文化に対する市民の様々な興味や関心、さらには学習意欲に応える施設となるよう、資料の収集・保存・活用を図り、市民文化の向上と活性化に寄与することに努める。

具体的方針については、改めて見直すことを検討していく。

努力目標

1 資料の収集・保存の推進

- (1) 水戸に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料を収集し、収蔵内容の充実に努める。
- (2) 収集した資料を調査・研究・展示等に活用するため、分類・整理・記録の整備に努める。
- (3) 資料の保存のため、収蔵庫における万全な管理を心がけ、また収集時にすでに破損していた資料については修復に努める。

2 展覧会及び普及活動の充実

- (1) 本市における水戸市明治維新 150 年記念事業の一環として、特別展「水戸城遥かなり」を開催し、市民が郷土の歴史、文化に興味、関心を持つ機会の充実に努める。
- (2) 2 年間休館した後のリニューアルオープンとなることから、4 月 1 日より企画展「茨城鉄道Ⅱ」、夏休み子どもミュージアム「妖怪様のお通りだい!!」、秋には 4 部門合同での特別展「みと歴史探訪」を開催し、博物館活動の積極的な普及を図る。
- (3) 自然・歴史・民俗・美術の各部門ともに、常設展示においては、新資料の公開や展示替えを行い、内容の充実に努める。
- (4) 特別展・企画展等を開催して、郷土の歴史と文化に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こし、市民文化の向上に努める。
- (5) 特別展等の関連行事や自然観察会、随時の展示説明等の教育普及活動を実施して、展示の補完と理解の深化をはかり、広く親しまれる施設となるように努める。
- (6) 小学校等の校外学習としての博物館見学を受け入れ体験講座を実施するほか、出前事業や学校授業への資料の貸し出しを行うなど、学校教育との連携に努める。
- (7) インターネット等の広報活動によって、博物館の概要、事業活動の情報、さらには展覧会に関する案内等情報の提供に努める。
- (8) 博物館ボランティアの参加により、館内案内や教育普及活動の充実を図る。

3 調査・研究の推進

- (1) 平成 24 年度より解読を進めてきた「石河明善日記」第 1 巻（1～5 冊）を刊行する。
- (2) 郷土水戸の自然・歴史・民俗・美術等に関する調査・研究に努める。
- (3) 調査・研究に必要な参考資料・文献の収集と整備に努める。
- (4) 資料の保存に伴う保存技術と資料の展示技術に関する最新の情報の収集と研究に努める。

4 地域連携の推進

- (1) 地域と連携し、市民と協働して博物館外での活動を展開する機会を持つなど、市民に親しまれる博物館運営に努める。

平成 29 年度博物館努力目標の達成状況について

運営方針

1 耐震及び設備改修工事終了に伴う資料移動作業の迅速化

- (1) 各収蔵庫に預けた資料の移動を確実かつ迅速に行うために、業者との事前協議を綿密に行なった上、預けた資料の確認をする。
- (2) 確認を終えた資料から順次移動を開始する。
- (3) 梱包した資料を解き、各収蔵庫に安全に収納する。
 - ・ 預けていた資料について、9月から1月にかけて順次確認、移動、収納を行った。

2 事務室移転作業の迅速化

- (1) 水戸市青柳町の公設市場内の福利厚生会館の仮事務所から博物館事務所を水戸市大町に戻す。
- (2) 移転に伴い、博物館事務を行うために必要なものを過不足なく運搬し、博物館事務所に収める。
- (3) 公設市場内の福利厚生会館の仮事務所の原状復帰を進める。
- (4) 移転後の博物館業務がスムーズに行えるように、事務機器等の確認をする。
 - ・ 8月下旬から運搬及び原状復帰を開始し、9月5日に仮事務所の引渡し及び博物館事務所の移転を行った。ネットワーク環境の復旧についても9月中旬までに完了した。

3 共催展及び普及活動の充実と次年度の常設展及び特別展等の準備

- (1) 城里町との共催展を開催し、郷土の文化に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こす。
- (2) 他市町村との連携を図ることで、新たな博物館の形態を模索、推進する。
- (3) 共催展の関連行事などの教育普及活動を実施して、広く親しまれる施設となるよう努める。
- (4) 小学校の校外学習としての体験学習は、可能な限り出前授業を行い、さらに学校授業への資料の貸し出しを行うことで、学校教育との連携に努める。
- (5) 平成 30 年度の常設展及び特別展・企画展の準備を進める。
 - ・ (1)～(5)については別紙報告事項参照 (P. 2～7)
- (6) インターネット等の広報活動によって、事業活動の情報、さらには共催展に関する案内情報の提供に努める。
 - ・ 館のホームページ及び市役所ホームページ中の博物館ページの充実に努めた。

4 地域連携の推進

- (1) 地域と連携し、市民と協働して博物館外での活動を展開する機会を持ち、市民に親しまれる博物館運営に努める。
 - ・ 休館の影響により、三店ものがたりへの参加を見送った。